

はじめに

はじめに、このたびの東日本大震災で被害を受けられました皆様には心よりお見舞い申し上げますと共に、皆様のご健康と一日も早く元の生活に戻れますよう、心からお祈り申し上げます。桶川市といたしましても、微力ではありますが、今後も復旧、復興に向けてのお手伝いをさせていただきたいと考えております。

さて、この10年間は、まさに激動の10年であり、特に近年では米国のリーマンショックに始まった世界経済への影響はわが国にも深刻な影を落とし、未だにそのトンネルから脱出できてはおりません。また、国内では、平成19年をピークに人口減少へ転じ、少子高齢化社会を迎え、東日本大震災を始めとした今までに経験をしたことのない自然災害に端を発した事象も重なり、経済や雇用に大きな影響を与えています。

桶川市では、土地区画整理事業の進捗に伴う新たな住宅地の供給や首都圏中央連絡自動車道や上尾道路の整備により、都市基盤の整備が進み明るい話題もありますが、前述のような国内外の影響を受けている現実から目を背けることはできません。

日本が元気になるには、まず地方が元気にならなければならず、それには市民や商工業者を含めた市内企業もいっしょになって取り組まなければなりません。

桶川市では平成13年に「桶川市第四次総合振興計画」を策定し、これに基づき各種の施策を展開して参りました。そして、平成23年からは新たに「桶川市第五次総合振興計画」を策定し、これからの10年間の市政の目標と方向性を示させていただきました。

「桶川市商工振興計画」は第四次総合振興計画の策定後の平成16年に市内の商工業の発展のための施策を講じるために策定いたしました。この度第五次総合振興計画の基本理念のひとつ「活力に満ち人が集うまち」を実現し、近年の目まぐるしい社会情勢の変化に対応するために本計画を改訂することとなりました。

なお、今回の改訂にあたり、桶川市商工振興委員会委員の皆様には貴重なご意見とご尽力をいただきましたことを、この場をもって心から御礼を申し上げます。

平成24年3月

桶川市長 岩崎正男